

とめ市議会 だより

第80号

2024年8月21日発行



画題：思い出
作者：佐沼高等学校 2年 伊藤 葵
作画：アクリル画

目次

特集	2
6月定期議会	4
一般質問	6
要望書等	11
委員会報告	12
Voice	15

～人口減少を考える～

語ろう登米市の未来！



7月15日、「語ろう登米市の未来！」
「人口減少を考える」

をテーマに、旧町域9カ所で意見交換会を開催し、延べ75名の皆様に参加いただきました。



子育て世代の定住を！

今回は、市民と議員と一緒に、共通の課題を通して、様々な話合いが出来るようにと考え、テーマを設定し、意見を交わしました。

リモートワークできる環境を！

『こうしたら!?こうなればいいね!!』

各会場での意見を抜粋してお知らせ！

出産・子育て

- ・住みよいまちを創ってほしい。
- ・子どもたちの可能性を伸ばすことが重要。
- ・子ども関連の予算を増やしてほしい。
- ・子どもたちにお金を使うやり方で、まちづくりをしてほしい。



若者

- ・人口減少は目に見えてきているので、いる人たちで何とかしていくしかない。
- ・現在の人口維持が大切。生まれてから卒業までどれだけサポートできるか。
- ・これからの本市を担っていく高校生や若い世代の意見を聞く意見交換会が必要。

就 業

- ・農業を活かす産業が必要不可欠。
- ・市外へ進学後に戻ってこない。
- ・農業の働き手がないので外国人を受け入れるアクションを起こしてほしい。
- ・有望な企業誘致に工夫を。



地域づくり

- ・伝統的な文化があるが、疲弊している。
- ・登米市ならではの企画を実現してほしい。
- ・人口減少で地域コミュニティが成り立たない。
- ・行政区を再編し、地域の活力を生み出す取組を。

移 住

- ・市の誇れるものをもっとPRすべき。
- ・農林業を今以上にアピールするべき。
- ・基幹産業を生かし、市外から働く人や移住する人を受け入れる。



それぞれの会場で、多くの貴重なご意見をいただきました。
皆様からいただいたご意見は報告書にまとめ、後日、議会ホームページでお知らせするとともに、議会と常任委員会で調査・検証し、活動に生かしてまいります。

■ 条例の制定

可決

* 議案第49号

人権擁護に関する条例の制定

すべての市民が人権を侵害されことなく、安心して暮らせる人権尊重のまちづくりを目指します。

■ 条例の全部改正

可決

* 議案第50号

行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の全部改正

手続きや縦覧等のオンライン化や、決済方法の拡充を可能とするためのルール改正です。

■ 条例の一部改正

可決

* 議案第51号

国民健康保険税の一部を改正

賦課限度額、保険税軽減の低所得者世帯にかかる所得判定基準を見直します。

■ 意見書

可決

* 発議第2号

現行の健康保険証の存続を求める意見書

マイナ保険証に対する不安がある中、現行の健康保険証の廃止を拙速に行わないよう、国会に意見書を提出します。

反対討論		賛成討論	
表題からは、現行の保険証を継続して使いたいとも受け止められる。		現行保険証の拙速な廃止を行うべきではないという部分が一番強調されるべきであり、課題解決は国が行うものだ。原案のとおりで良い。	
趣旨はマイナンバー保険証の課題解決をもとめるものだから、趣旨が伝わる表題に改めるべきだ。			

●意見書の審議結果

議員氏名 議案名	採 決 結 果																										賛 成	反 対	議決結果
	1 熊谷康信	2 浅田琢哉	3 遠藤真理子	4 伊藤善博	5 鈴木実	6 永島順子	7 首藤忠則	8 曽根充敏	9 佐々木好博	10 須藤幸喜	11 岩渕正弘	12 佐藤千賀子	13 熊谷和弘	14 日下俊	15 佐々木幸一	16 工藤淳子	17 武田節夫	18 岩淵正宏	19 中澤宏	20 及川昌憲	21 伊藤栄	22 田口政信	23 相澤吉悦	24 八木しみ子	25 氏家英人	26 関孝			
発議第2号 現行の健康保険証の存続を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	議 長	21	4	可決

※採決結果欄 (○)は賛成、(×)は反対または賛成しなかったもの。

こんな質疑がありました

* 議案第49号

Q

いま、人権擁護条例を制定する意図は何か。

A

人権は新しいステージに入っている。市民一人一人にしっかり意識を高めてもらいたいと考えた。

Q

相談体制の充実とは具体的に何か。

A

相談窓口に係る情報周知の強化や、迅速な窓口対応を考えている。

* 議案第50号

Q

情報通信の技術を使うことで、どの程度の経費圧縮を見込むのか。

A

今回はさまざまな手続きができるようにする準備である。書かない窓口、待たせない窓口などで効果を期待する。

Q

高齢の方なども大丈夫か。

A

手書きも残し、対応していきたい。

* 議案第51号

Q

この改正で国保税収は向上するのか。

A

軽減範囲が拡大したこともあり、一概に判断できない。

ズームアップ

6月定期議会で話し合ったこと

令和6年定例会6月定期議会は6月3日～19日までの17日間開会され、議案19件を審議し、すべて原案の通り可決しました。

■ 補正予算

* 議案第46号 令和6年度 一般会計補正予算(第2号)から

議案第48号 令和6年度 水道事業会計補正予算(第1号)まで

可決

一般会計では、歳入歳出それぞれ10億343万円を追加し、予算の総額を871億5419万円としました。また、財源が全額国庫支出金である、「非課税世帯等支援給付金事業」2億2767万円や「定額減税補足給付金(調整給付)事業」3億5262万円、合計5億8029万円の専決処分の報告を受けました。

主な補正内容は下記の通りです。

・市制施行20周年記念事業

本市の将来像の実現に向けて一体感の醸成を図り、未来へつなぐまちづくりの起点とするため記念事業を行うもの
(455万円)

・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

予防接種法のB類疾病に位置づけられたことに伴い、定期接種となることから、接種体制への助成により個人の発病やまん延予防を図るもの
(2億3041万円)

・児童手当給付事業（制度改正分）

児童を養育する家庭に児童手当を支給することで、生活の安定と次代を担う児童の健全な育成や資質の向上を図るもの
(1億4161万円)

・有機農業産地づくり推進事業

環境保全型農業の次のステップとして農業者や関係機関等の連携によりオーガニックビレッジ等の取組みを進め、更なる有機農業の推進を図るもの
(296万円)

・マイナンバーカードと健康保険証の一体化に向けたシステム改修等事業

法律等の一部改正により、令和6年12月から現行の健康保険証の発行が終了することから、システム改修等を行うもの
(877万円)

こんな質疑がありました

Q

市制施行20周年事業に係る総務企画常任委員会からの提言は、反映されているのか。

A

姉妹都市締結の件では、記念事業を実施する中で各部局にて検討が進められていると認識している。

Q

有機農業産地づくり推進事業での目標面積はいくらか。

A

現在の149haから令和11年度に200haまで拡大したい。

Q

目標達成するには新たに有機農業に取組む農家を増やすための方策が必要では。

A

具体的な方策は、今後関係団体と協議検討していく。

特集

定期議会

一般質問

要望書・陳情書
意見書・政務活動費

委員会

Voice

とめ市議会だより 第80号
令和6年8月21日発行

5

とめ市議会だより 第80号
令和6年8月21日発行

4

問 指定管理について



答 問題点があれば改善指示していく



相澤吉悦 議員

できない。公民館には法に基づいて館長を置かなければならない。館長に係る人件費を館長以外の方に流用はできない。問題点があれば、改善指示等をしつかり行っていく。

問 本市では、多くの施設を指定管理に出している。その中で登米市内の公民館は、各地域のコミュニティ推進協議会などに指定管理を委託し専任職員の指導の下、総合的な社会教育施設として管理、運営している。運営方法に関しては、それぞれ特色があつていいが、職員の配置や各種団体との関わり方について一定のルールがあると思う。その考え方について研修会を開催するなど、改めて指導すべきと思うが。

答 医師の仕事は複数の職種で分け合うタスクシフト・シェアを進め、各部門で定期的に面談を行い働きやすい体制づくりを整えていく。処遇改善については、人材確保手当の引き上げに取組む。



指定管理者によって管理されている公共施設（迫公民館）

問 農業基本法改正に声を上げるべき



答 内容を見極め地域の声を届けていく



佐々木好博 議員

問 今回の「食料・農業・農村基本法」改正はこれからの日本農業を大きく変えていき、本市農業者への影響も少なくない。特に「食料供給困難事態対策法」においては、国が強制的に生産転換や作付け品種の指定、増産の計画書提出が規定され、違反者への罰則まで設けられている。こんなことが法律として定められること自体を大いに疑問視している。国の法律とはいえ、地方自治体や農業者の主権を制限するような法律には「法律で定められた主権ある地方自治体」として、国に対して見直しなどの意見を述べるべきであると考えがどうか。

答 近年の気候変動や世界情勢など食料不足が懸念される状況に対処するための法律と理解するが、農業者の生産の自由が制約される可能性は危惧している。同法案についてはまだ不明な点もあり、情報収集に努める必要に感じて声を上げていく。

問 同法律では食料供給困難事態への対処として、更なる輸入の拡大、ゲノム編集作物推進などとしている。本来は自給自足率向上を目指すべきだと考えるが本市の見解は。



日本の食料自給率の推移

問 市民説明会の資料に誤りがある



答 あくまでもイメージ図である



岩瀬正弘 議員

問 登米市（仮称）地域交流センター整備基本方針に関する市民説明会が3回実施された。市民への説明に用いた資料の図について、一級市道北方、中田線の一部が施設敷地と重なる旨の表記となっている。市道の変更について法律など手続上の問題点としてどのようなものがあるか。

答 説明資料の図については、事業内容を分かりやすくするため、あくまでイメージとして作成したものである。市道を施設に含める考えはない。

問 この資料で説明された方は、図に記載のとおり事業と理解すると思う。単にイメージ図でしかたという説明では済まないと思うが、資料を精査した上で再度市民説明



市民説明会の配布資料

問 居住誘導を具現化する施策は



答 これから庁内横断的に検討する



曾根充敏 議員

問 立地適正化計画では、居住誘導区域内の人口密度は維持したいとしているが、現在進行形で人口減少が進んでいるのだから、人口減少に見合う居住誘導を現時点で打ち出す必要があるのではないか。

答 現段階で、居住誘導区域内への具体的な策は持っていない。人口推移も人口問題研究所で示す通りと考えている。

問 人口問題研究所が示す令和22年の人口密度は26・3人/haである。この想定する区域内人口は9800人くらいだ。1200人ほど多い人口を想定しなければなら



居住誘導区域色分け図



市民説明会の様子

人口減少を半分程度に抑えなければ計画に示す人口密度は維持されない。



熊谷康信 議員

問 更なる市民説明会を！



答 再度説明会については考えていない

問 市民からは市民生活にもっと寄り添ってほしいとの意見があつた。国の補助金や合併特例債の活用期限ありきでの説明だけでは同調できない。改めて市民生活の充実に担保する約束を含めて説明いただきたい。

答 この計画は将来のまちづくりの核となるものであると確信している。

問 基幹産業の振興こそ地域活性化の糸口であり、その振興なくして地域活性化はあり得ない。今、畜産農家は非常に困窮していることから、更なる市の支援を講じるべきではないか。

答 一自治体では支えきれない範囲を超えており、国策として農業を守っていくことが基本である。国に対しさまざまな支援を要望していくとともに、市としてできる範囲で早急に支援すべきと考え、今回の補助金を上乗せすることとした。

問 AEDの使用率向上を



答 応急手当の普及啓発に努める



熊谷和弘 議員

問 自動体外式除細動器（AED）の使用率が低い現状である。理由として「設置場所の周知が徹底されていない」「使用経験がない」などが挙げられている。

そこで、使用率向上を図るため、以下4点にしっかりと取り組むべきと考えるが市長の見解を伺う。

①設置場所について、さらなる周知を図ること。②本市において年6回開催されている普通救命講習会のさらなる周知を行い、参加者の増加を図ること。③女性に配慮したAEDの使用例を講習会でしっかりと説明し、女性への使用率向上につなげる。④市内の公共施設に設置されているすべてのAEDに、女性



AED（迫総合支所）

その他の質問・風しん抗体検査の取組について

子ども通園制度について



答 体制が整った施設から実施につなげていく



工藤淳子 議員

問 「子ども誰でも通園制度」は、親が就労して

いなくても子どもを保育所などに預けることができる新たな制度。国は試行的な事業として、6か月から3歳未満児の1人あたりの利用時間の上限を「月10時間」としている。8年度には新たな通園制度として全国すべての自治体で実施する方針。これに対し保育関係者からは「保育の現場では、保育士の配置基準が現状に合っておらず、負担感が大きい。まずは園の運営が安定するようしっかりと予算をつけて欲しい」など不安な声が寄せられている。受け入れる側の体制が整っていないのに、制度の導入が急ぎ足になっているのではないか。

答 国は5年度より試行的事業として実施し、6年4月現在全国で115自治体、県内では仙台市のみが実施している。すべての保育施設で実施するのではなく、体制が整った施設が手を上げての実施となる。

学校給食費の無料化を

問 子どもにとつてかけがえのない大切な学校給食を、所得制限なしで無償化する自治体が増えていく。段階的な無償化の取組はできないか。

答 財政状況を踏まえ、慎重に判断していく。市長会を通して、国や県に継続して要望していく。



木の下で遊ぶ子どもたち

障害者雇用に対する基本的な考えは



答 共生社会実現に向け、雇用促進に取り組む



首藤忠則 議員

問 障害者雇用の現状及び法定雇用率の達成状況は。

答 本市では、平成28年度以降、障害者を対象とした職員採用試験を実施している。また、法定雇用率が2・6%となった3年以降、市長部局では、3年が2・93%、4年が2・65%、5年が2・62%と法定雇用率を達成している。教育委員会では、3年が2・87%、4年が2・33%、5年が2・32%となっており、法定雇用率で計算した障害者と実障害者数を比較して、不足が生じていないため、法定雇用率を達成している状況にある。

問 宮城労働局によると、本市の病院事業が未達成機関となっているが。

答 本年度初め、労働局から指導と注意を受けた。本年6月1日から、障害者の方を会計年度任用職員として雇用している。

答 本年度初め、労働局から指導と注意を受けた。本年6月1日から、障害者の方を会計年度任用職員として雇用している。

「(仮称)地域交流センター」について

問 同センターの建設計画は、平成29年の市長選挙の際の公約に反しているか。

答 2期目の選挙公約、所信表明の考え方を具現化するものであり、選挙公約に反しているものとは認識していない。

その他の質問

芭蕉俳句大会について・石ノ森章太郎ふるさと記念館について



現在の登米市役所迫庁舎

問 障がい者プランと支援体制について



答 周知に努め切れ目のない支援に



遠藤真理子 議員

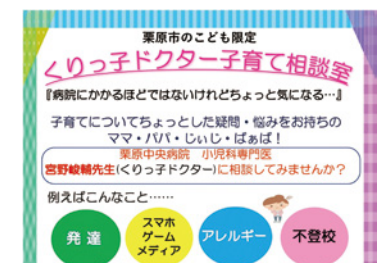
問 栗原市では、「くりっ子ドクター子育て相談室」という無料相談がある。

小児科医が、発達やアレルギー、不登校やスマホ、ゲームのことまで幅広く相談に乗り、子育て支援課や学校とも連携を取りながら対応し、不登校の改善や発達障害児の、2次的な不登校や鬱を防いでいるという。保護者は子どもに発達の遅れがあるかもしれないと聞くと戸惑い不安になる。早めに道筋を立てることでの心の安定にもつながるものと思う。

栗原市と同様の支援体制が必要と考えるが、取組むことはできないか。

答 発達障害の専門医療機関がないため、現状では実施は難しいものと捉えている。しかし、精神

問 栗原市では、「くりっ子ドクター子育て相談室」という無料相談がある。小児科医が、発達やアレルギー、不登校やスマホ、ゲームのことまで幅広く相談に乗り、子育て支援課や学校とも連携を取りながら対応し、不登校の改善や発達障害児の、2次的な不登校や鬱を防いでいるという。保護者は子どもに発達の遅れがあるかもしれないと聞くと戸惑い不安になる。早めに道筋を立てることでの心の安定にもつながるものと思う。



くりっ子ドクター子育て相談室 (栗原)

答 市民病院の小児科医とよく相談しながら、このような試みがあればやれると思う。その準備をしたいと思う。

問 市民病院小児科医が、栗原市のような発達に関するアドバイスや助言の時間を月1回2時間位でも行うことはできないか。

答 発達精密健康診査や臨床心理士による相談を有効に利用できるよう周知に努める。

さらに、こども家庭センターや各総合支所保健師などが身近な相談窓口となり、医療機関などと連携を図り、相談者に寄り添った切れ目のない支援を行っていく。

問 国民健康保険税、負担軽減の努力を



答 軽減策の拡充は、全国市長会等で要望する



鈴木 実 議員

問 物価の高止まり、高騰品目の増で、市民生活は苦境にある。第3期宮城県国民健康保険運営方針は、8年度に納付金ベースによる統一、12年度に完全統一を目指す。本市は度重なる公共料金の値上げで、これ以上の市民負担は厳しい。今後の市民負担の推移と、被保険者の保険料負担軽減策を伺う。

また今年から産前産後期間の所得割及び均等割の減額措置をしている。それ以外は難しい。

問 国保新聞で、子ども子育て支援金について「国保年収400万円まで550円」と報道された。国保会計からの徴収について、市長の受け止めと対応を伺う。

答 支援金の財源を全ての医療保険加入者が拠出することについては、使途や徴収方法などについて、国において十分に審議された上での内容と捉えている。

その他の質問
・介護保険税の軽減策、医療体制と働き方改革について



国の補助率が3分の1程度となっている

問 佐沼ICの価値活かす都市創造



答 民間の力借りられれば絶対可能



中澤 宏 議員

問 みやぎ県北高速幹線道路利用の中心となる佐沼インターチェンジを、広域高速交通網の効果を最大限享受できる施設と捉え、施設の価値を最大限活かす都市づくりに挑む考えを質す。

①10年度開通をめざし工事を進めている梅ノ木・平柳線付近の全部または一部の区域を企業用地、住宅用地などに創出する考えはないか。

②地権者、事業者、市民皆様と新たなまちづくりを考える市民会議を立ち上げる考えはないか。

答 佐沼インターチェンジ周辺については、東北縦貫自動車道と三陸沿岸道路を結ぶ広域幹線道路軸として重要な役割を担う、みやぎ県北高速幹線道路の整備に伴い、市内



新たな都市開発が望まれる、佐沼IC周辺地域

問 入札制度は市内業者優先にすべき



答 競争性と地域活性化を目的に行う



日下 俊 議員

問 入札執行について最近見直しや変更は行われたか。

答 建設工事の評定について、契約金額3百万円から5百万円に見直した。

問 夜間工事など業者の努力で行う評定は、実績として審査しているか。

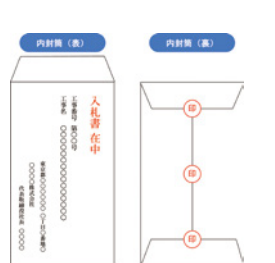
答 工事評定は昼間と同じだが、企業努力の実績として、審査している。

問 契約管理について、今電子入札と紙入札の件数は、電子入札は343件、紙が249件である。

問 入札において1年間の失格件数はいくらかある。

答 入札提出2626件中失格が405件である。

問 市内業者が仕事をすることで経済活動が活性化し税金として循環し、若者の働く場所確保に繋がる。若い方々の就労場所確保



入札様式

問 コンビニ収納件数と、収納額は何の位になるか。

収納額は12万9千円、収納額は14億7千万円。

問 債券運用は全て証券会社で運用され、指定金融機関からアドバイスなどはない。

問 合併当初、みやぎ登米農業協同組合が指定金融機関になった理由は、津山町を除く各町域に複数の店舗を開設していたため、選定した。

問 県内で本市だけ農協で、他は七十七銀行であるが、債券運用など任せているか。

答 債券運用は全て証券会社で運用され、指定金融機関からアドバイスなどはない。

問 入札制度に関し公正さを確保し、競争性も担保しながら、市内活性化につながるよう研究してまいりたい。

問 合併当初、みやぎ登米農業協同組合が指定金融機関になった理由は、津山町を除く各町域に複数の店舗を開設していたため、選定した。

問 県内で本市だけ農協で、他は七十七銀行であるが、債券運用など任せているか。

答 債券運用は全て証券会社で運用され、指定金融機関からアドバイスなどはない。

問 コンビニ収納件数と、収納額はどの位になるか。

収納額は12万9千円、収納額は14億7千万円。

問 本市産食材ネットワークの構築を



答 ワークショップの開催を計画



永島順子 議員

ピーデーに情報が入手でき取引につながる取組を進めていく。

居住支援の充実を

問 「新たな住宅セーフティネット制度」は、増加する空き家・空き室を活用して、高齢者・障がい者など住宅確保要配慮者が、円滑に入居・居住できるような必要な取組を推進するものである。本市でも住宅部局と福祉部局が連携して、居住支援法人や不動産関係者と協議会をつくり、居住支援を行ってはどうか。

答 協議会の設立については、制度設計を含めて前向きに検討していく。



登米市産米粉・小麦粉を使ったお菓子

問 米山公立認定こども園化について



答 良好な保育環境の確保のため検討



武田節夫 議員

討を進める。

公共工事の平準化を

問 国では、地方自治体が発注する公共工事が年度末に集中するのを防ぐため、新指標を作成する方針を固めた。繁忙期を分散することで働き方改革につながる狙いである。公共工事は年間を通じて均等に発注すべきと考える。現在の状況と今後の対策を伺う。

答 平準化率が高い県から指導をいただき、平準化率向上に努める。また、積算の前倒しや早期発注、状況に応じた速やかな繰越手続、債務負担行為を活用しながら進める。



よねやま保育園

問 既存庁舎の利活用について



答 基本構想策定後に整備



佐藤千賀子 議員

をすすめているところで、既存施設の活用は検討されていないというところだが、来る者、去る者両方が心配、不安のないように、ぜひ同時にどのようにするか検討をしていただきたい。

答 新しくつくる計画とともに、既存施設の在り方についてもきちんと検討を進めていく。



現在の登米市役所中田庁舎

問 (仮称)地域交流センターが建設された場合中田庁舎からどれだけの人数が移動するのか。

答 建設部・産業経済部、農業委員会事務局、教育委員会では190名程度の予定。

問 登米市合併から今まで、中田庁舎があったからいろいろな本庁機能が賄われてきたと思う。本庁機能が一部ある中田庁舎に行くと、高齢化、少子化と呼ばれるながらもいつもにぎわっている。一方でにぎわい創設のセンターをつくると、にぎわいをうたっているが、中田町のように190人もの人たちが移動すると空洞化してしまうのではないか。(仮称)地域交流センターは、まだ機能・規模などの検討

6月定期議会までにいた
だいた要望書・陳情書

官公需適格組合及び地元生コン工場の使用に関する要望書

提出者

・宮城県北生コン協同組合

要旨

理事長 大場 一豊

昨今生コンクリートの需要は激減し、困難な経営を余儀なくされている。本市発注の工事においては「地産地消」の観点から、組合員工場の生コンを使用するよう要望する。

要望に対する対応

産業建設常任委員会で調査し、要望書を全議員に配布した。

現行の健康保険証の存続を求める意見書提出のための陳情書

提出者

・宮城県保険医療協会

要旨

理事長 井上 博之

本年秋に現行の健康保険証を廃止し、マイナ保険証に一本化するとの政府方針について、拙速に廃止を行わず、より慎重に検討を進めるため、国へ現行の健康保険証の存続を求める意見書を提出していただくよう陳情する。

陳情に対する対応

教育民生常任委員会で調査し、国会へ意見書を提出した。

議会から提出した意見書

現行の健康保険証の存続を求める意見書

提出者

教育民生常任委員会

委員長

田口 政信

提出理由

現行の健康保険証の存続に対して、地方自治法第99条に基づき国会又は関係行政庁に意見書を提出するため、登米市議会会議規則第14条2項の規定により提出する。

要旨

政府は、本年秋に現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに一本化する法案を可決・成立させたが、マイナ保険証はトラブルが続出しており、多くの患者・国民が不安を抱えている。

いつでも、どこでも、だれもが安心して医療を受けられる国民皆保険制度を堅持するため、本年秋に現行の健康保険証の廃止を拙速に行わず、慎重に検討を重ねて進めるよう求める。

提出先(敬称略)

内閣総理大臣 岸田 文雄
厚生労働大臣 武見 敬三
総務大臣 松本 剛明
法務大臣 小泉 龍司
デジタル大臣 河野 太郎
衆議院議長 額賀 福志郎
参議院議長 尾辻 秀久

令和5年度 政務活動費収支報告

政務活動費は議員の調査研究に必要な経費の一部として、会派または会派に属さない議員に対し、議員1人当たり月額2万5千円を交付しています。

登米市議会では使途の透明性を図るため、収支報告書に全ての領収書の添付を義務づけています。また、支出額が交付額に満たないときは、その残額を返還することになっています。なお、収支報告に係る関係書類はどなたでも閲覧でき、ホームページでも公開しています。

会派および議員名		新・立志の会	大地の会	太陽・みらい21	ねくすとTome	日本共産党市議団	浅田琢哉	須藤幸喜	熊谷和弘	伊藤 栄	計
議員数(人)		7	5	4	2	2	1	1	1	1	24
交付額		2,100,000	1,500,000	1,200,000	725,000	600,000	175,000	300,000	300,000	300,000	7,200,000
支出項目	調査研究費	1,041,030	1,219,435	338,717	563,288	48,000	14,000	24,000	256,101	82,050	3,586,621
	研修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	6,867	131,020	0	0	0	15,900	0	0	153,787
	資料購入費	0	0	95,376	0	0	0	8,400	0	49,128	152,904
	広報費	0	0	461,763	0	0	0	230,821	0	0	692,584
	公聴費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0	0	16,137	0	0	16,137
支出合計		1,041,030	1,226,302	1,026,876	563,288	48,000	14,000	295,258	256,101	131,178	4,602,033
戻入額		1,058,970	273,698	173,124	161,712	552,000	161,000	4,742	43,899	168,822	2,597,967

シリーズ 中心市街地等活性化特別委員会 レポート4

市民説明会・市民ワークショップ開催される

4月に開催された市民説明会並びに、6月に開催された市民ワークショップについて7月19日に報告を受けました。



市民説明会

(仮称)地域交流センター整備に関する市民説明会が、4月22日迫会場、24日米山会場、26日登米会場において行われました。

市民から出された意見などの概要は以下のとおりです。

・施設の内容

図書館は必要性である、必要ない、など。

・既存の施設

集約後の施設活用方法をどう考えているのか、など。

・建設場所

地震・内水災害が心配される、など。

・財政運営

将来的な市財政が不安である、など。

・その他

市民に対する説明不足ではないか、など。

市民ワークショップ

6月1日 テーマ：「交流」ってなんだろう？
「まち」とつながるには？

各種団体推薦者及び

無作為抽出による市民19人

4つのグループに分かれ、テーマに沿って話し合われました。



グループごとに発表された内容（一部抜粋）

①「交流ってなんだろう？」

人と人が交わること、話すこと、さまざまな活動をする、知ること、参画すること、人がつながること、「ときめき」を生むこと、など。

②「交流が生まれるために何が必要？」

人と場所、過ごしやすい雰囲気、子どもが遊べる場所、一日中いることができる飲食スペース、やりたいことができる場所、交通網の整備、など。

③「まちにつなげるには？」

情報発信と交通体制の充実、コミュニティづくり、移動図書館、さまざまなイベントの開催、ボランティアの育成、民間による運営の必要性、若者とのかわり、子どもたちがチャレンジできる場所、など。

今回の報告を受けて

委員会としては、引き続き市民意見を大切にしながら、調査・検討・提言を行うよう、努めてまいります。

Voice

第3回

今回は「とめまる2024」でお話しを伺いました。

エスファクトリー東北中江公園において市民の手作りマルシェ「とめまる2024」が開催され、飲食、ステージ、キッズスペース、アトラクションなどのブースがあり、たくさんの方々が賑わいました。



イベントを楽しんでいるママに聞きました。

◆こんにちは。楽しそうですね。

— キッズスペースがあるので、いいなあと思いました。お兄ちゃんも動く車に乗せてもらい、嬉しかったようです。— 休日のこういうイベントはすごくありがたいです。— 登米市に来て2年くらいですが、こういうイベントは楽しいと思います。子どもが遊べる場所があつていいなと。

◆お子さんの時間の過ごし方を教えてください。



— 晴れたら公園ですね。外好きなので、近くのフィットネスパーク秋洗、余裕がある時は長沼などに行きます。雨の日はイオンのゲームかな。— たまに公園に行きます。雨の日は家で過ごしています。— こうしたイベントはすごくありがたいです。— 子どもが遊べるイベントがもっとあるといいですね。— イベント一覧など、もっと情報がほしいです。— 無料で子どもが歩きまわれるような屋内施設があるといいです。



イベントスタッフの中学生にも聞きました。

◆イベントスタッフになっただけ、スタッフをしてみようですか。

— 今年初めてですが、子どもと一緒に遊ぶことが出来て、笑顔を見ると自分も楽しくなります。— 友達に何度か誘われて、じゃあやってみようと思って始めました。— イベントスタッフはとっても楽しいです。友達も増えるし、いいことしかありません。みんなにやってほしいくらいです。



◆登米市ってどうですか。

— 自然や田んぼがたくさんあって生活しやすいし、自転車で行けるイオンのような楽しい場所もある。暮らしやすいまちだと思っています。

— おじいちゃんと子どもとか、みんなが楽しめる屋外、屋内どっちもある「とめまる」のようなイベントを増やしたいと思っています。— コロナのせいで減ってしまった、上の方や下の方との交流の場がもっとあってもいいかなと思います。お年寄りも頑張ってください、運動会のようなことですね。



今回は子育てママと、イベントを手伝っている生徒さんにスポットをあてて、取材を行いました。インタビューにご協力いただき、ありがとうございました。

とめまる2024会場



議員表彰

第100回全国市議会議長会定期総会において、長年にわたり市政の振興に尽くされた功績により、2人の方が表彰されました。

◎特別表彰

(議員在職20年以上)

武田 節夫 議員

(議員在職15年以上)

氏家 英人 議員

※在職年数については合併前の町議会議員としての在職年数を考慮したものです。

令和5年度 議会個人情報保護制度の 運用状況について

当市議会が保有する個人情報についての開示請求、訂正請求及び利用停止請求並びに審査請求はありませんでした。



表紙の絵について



「思い出」

夏祭りのりんご飴をイメージして描きました。

私は夏祭りでりんご飴を買って食べたことがないので、もし食べられた時はきっといい思い出になるんだろうなと思いながら描いたものです。

りんご飴の中にある星は、美味しさのほかにもたくさん魅力的なものが詰まっていることを表現しました。

苦労したところは、光と影の付け方です。飴のツヤ感を表現するためにも大切なところなので、こだわるようにしました。

また、りんごの色もなかなかいい色が塗れず、何度も塗り直しましたが、きれいな色合いにできたので良かったです。

佐沼高等学校 2年 伊藤 葵 いとう あおい

議会からのお知らせ

9月定期議会

9月10日(火) 開会予定

本会議はインターネット中継でご覧になれます。

なお、ご不明な点などがございましたら議会事務局までお問合せください。

スマホで！



議会中継



facebook

あとがき

『とめ市議会だより』第80号をお読みいただきありがとうございます。

表紙の絵画は、市内の

高校に依頼し、佐沼高校の伊藤葵さんより提供頂いた作品です。「思い出」と題して、夏祭りのりんご飴をイメージしたとのこと、作者の表現力が光る魅力のつまった作品に描きあげられています。

議会だよりの本格的なりニユアルに相応しく、明るく鮮やかな表紙を飾ることができました。高校生の協力で感謝申し上げます。

私たち編集委員は、リ

ニユアルされた市議会だより79号・80号に対してのさまざまな意見や感想を踏まえ、次号以降もさらに推敲に推敲を重ね、読者目線の紙面づくりを心掛けていきます。

(浅田 琢哉)

広報広聴委員会

委員長 佐々木好博

副委員長 伊藤 善博

委員 熊谷 康信

委員 浅田 琢哉

委員 遠藤真理子

委員 鈴木 実

委員 永島 順子

委員 曾根 充敏

委員 岩淵 正宏

議長 関 孝